

Advantage アドバンテージ

ABSは、「創造的リーダー」を数多く輩出するために、さまざまな教育プログラムを開発し、絶え間ない改善を続けています。また、学習効果や効率を高めるための環境も整っています。ABSのアドバンテージをご紹介します。

01 青山アクション・ラーニング

経営理論とビジネスの実践を結びつける 体験的学習プロジェクト

ABSは、グローバルスタンダードに基づいてカリキュラムを設計しています。海外のビジネススクールでは修士論文の執筆を不要とするのが主流です。このため、ABSも修士論文の執筆を不要とし、入学後に身に付けた知識をビジネスの実践に活かせるよう、体験から学びを得ることを重視しています。



02 グローバルスタンダードに沿ったカリキュラム

ABSの科目群は、欧米の一流ビジネススクールのカリキュラムを参考にして構成されています。専門分野を深く学ぶこともできますが、複雑化するビジネス環境において、総合的な観点から意思決定できる経営能力の養成に有効です。体系的なカリキュラムを通して、創造的リーダーに必要な幅広い知識の吸収が可能です。

04 歴史と修了生ネットワーク

ABSの源流は、1990年4月に設立された「国際ビジネス専攻修士課程」です。これは、わが国の私立大学では初めて夜間に社会人を対象にビジネスを教える大学院として設立されたものです。その後、2001年4月にはわが国私立大学初の専門大学院「国際マネジメント研究科」に改組され、さらに2003年4月には、専門職大学院「国際マネジメント研究科」となり、現在に至っています。

2020年に設立30周年を迎えた本研究科は、日本におけるビジネススクールの草分けとして、2,700人以上のMBAホルダーを世に送り出しており、修了生は実業界のさまざまな分野で活躍しています。



03 仕事と勉強を両立しやすい立地

ABSは、表参道から徒歩5分、渋谷から徒歩10分という利便性の高い場所にあります。大手町、新橋、品川、赤坂、新宿など東京の主要なオフィス街から、ドアトゥドアで30分以内で、仕事のパフォーマンスを落とすことなく学ぶことができます。また、産学連携・異業種交流を生み出しやすいビジネス環境です。



05 グローバル人材の育成

グローバルに活躍できるように、「グローバル・コミュニケーション」「異文化マネジメントとリーダーシップ」といった科目に加え、英語でビジネスを学ぶ科目も設置しています。海外研修セミナーや海外のMBAと共同で行う授業もあります。また、海外のビジネススクールとの交流の機会もあります。

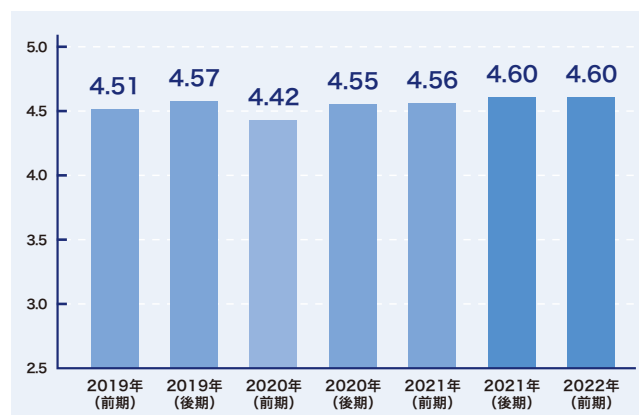
06 授業の質向上への取り組み

授業評価アンケート

ABSでは、授業内容の改善のため、全授業で履修者による授業評価アンケートを実施しています。結果は担当教員だけにフィードバックするのではなく、在学生に公開しています。在学生へ公開することにより学生はどの授業がどのくらいの満足度なのかを参考にして履修計画を立てることができます。このような仕組みによって、一定レベルの質を保った授業を提供しています。

学生による授業評価

(5段階評価)



授業評価プロセス

1. アンケート実施

- ・各授業の最終回に学生が無記名でアンケートに回答



2. アンケート結果報告

- ・全科目の結果を教授会で公開
- ・各科目の担当者へ結果を連絡
- ・全科目の結果を学生に公開



3. 翌期の授業への反映

- ・アンケート結果にしたがって、翌期の授業計画を作成

ティーチングアワード

「優れた授業を行った教員を表彰することで、その努力と貢献をたたえとともに、今後の授業の質向上に向けた努力を喚起する」ことを目的に、毎年、ABSティーチングアワードの表彰を行っています。

07 ビジネス倫理教育

ミッションに「社会的責任」「地球市民」というワードがあるように、ABSは企業の社会性を重視しています。「ビジネス倫理」を必修科目に配置するだけでなく、「ビジネス・フィロソフィー」、「ビジネス倫理とリーダーシップ」など、科目も充実しています。これは、現代のビジネススクールの世界的な倫理志向の潮流に倣さずと同時に、自由と自律を重んじた青山学院のキリスト教教育の精神に基づく特徴でもあります。



08 多様な科目、程よいクラスサイズ、丁寧な教育指導と関係性

ABSは時代や社会の要請に対応するとともに、創造的リーダーを目指す学生の高い意思と自主的な学びの意欲にそって選択できるMBA課程科目を様々に揃えています。その科目数の多様性、充実ぶりは他のスクールにないABSならではの特徴です。(2023年度カリキュラム-必修科目(科目数9)、基本科目(14)、専門科目(52)、共通専門科目(32)、青山アクション・ラーニング科目(11)、合計118科目に加え他研究科、協定大学院の科目も履修可能)

今年度は原則全科目の講義を録画し、その映像コンテンツを履修生が視聴できるようにしています。また各科目の受講生数もクラスディスカッションや問題意識の解決に適合した程よいクラスサイズになっており、教員と学生の関係性も深く、学生同士のコミュニケーションも充実しています。

09 最先端の研究による学び

ABSでは様々なビジネス領域における最先端の研究に取り組んでいます。そのなかで特徴的なものが社会的に重要な課題となっているサステナビリティに関する研究です。

在学生への教育に活かすだけでなく、履修証明プログラム「サステナビリティ・マネジメント講座」(2022年度開講)など、ABSは研究成果を社会に還元し続けていくことを目指しています。



詳しくは、ウェブサイトにてご覧ください。
<https://www.aoyamabs.jp/value/evaluate.html>